

2008

平和の声が地球を包む

花開かせよう!! 日本国憲法

あけまして
おめでどうござります

イラク戦争から5年がたち、戦争をしかけた米ブッシュ政権は孤立し、戦争を主導した国すべてで指導者が退陣しました。

日本でも、「イラク戦争支持」「憲法改悪」「貧困と格差」をすすめる安倍自公政権が参議院選挙で歴史的な大敗をきし、安倍首相は政権を投げ出し、インド洋から自衛隊艦隊が撤収しました。

いま、平和な世界を求める声が大きくなり、地球を包み込もうとしています。

こうした流れの中でいま、日本政府がなすべきことは、アメリカ追随の政策を改め、戦争を

放棄した憲法9条を活かし、平和外交で役割を發揮することです。

2008年、憲法9条守れの声をさらに大きく広げ、日本国憲法の花を大きく開かせましょう。

新テロ特措法を廃案に

テロ特措法の期限が切れ、インド洋で米艦などに給油していた自衛艦が帰国しました。これを再開し

行しようとしています。アメリカの戦争を支援する法案は、廃案にすべきです。



たい自民・公明両党国会を再延長し、衆院で3分の2以上の賛成多数で新テロ特措法案の再議決を強

テロ特措法で、自衛隊が米艦船などへの給油活動に使った国民の税金は、800億円。別に毎年6000億円も米軍に提供しています。さらに米軍基地再編に3兆円。ここにも利権が渦巻いています。「防衛省は油を出すより、まずウミを出せ」というのが国民の声です。

